

【案3】 コンセプト:”四季の彩に親しむ樹木”

春にはヤマザクラ、秋にはイロハモミジなど、季節により異なる花が咲き、いつでも来たくなる樹木を植える案です。

植樹エリア	20年後CG画像	使用樹種 ※括弧内は、花や紅葉の色	樹種選定理由	植樹本数
A; 擁壁前		<p>【落】ヤマザクラ（ピンク）、イロハモミジ（赤）、ヤブツバキ（赤）</p> <p>【低】ユキヤナギ（白）、ヤマブキ（黄）</p> <p>【つる】ナツツタ（赤）</p>	<p><花を楽しめ、季節を感じられる樹種></p> <p>ユキヤナギ（3～4月）、ヤマザクラ（4月）、ヤマブキ（4～5月）、イロハモミジ（秋）、ナツツタ（秋）、ヤブツバキ（冬）</p> <p><地域に自生する樹種、関わりの深い樹種></p> <p>生田小の校章（サクラ）</p>	<p>高木;7本</p> <p>低木 (ユキヤナギ);120株 (ヤマブキ);60株</p> <p>蔓物;33鉢</p>
B; 石碑奥		<p>【低】ハクチョウゲ（白）</p>	<p>石碑周りに賑わいを持たせるため、壁側に沿って植栽するが、石碑の周囲を通行できるように空間を確保する。</p>	<p>低木;100株</p>
C; ベンチ間 三角地		<p>【落】ヤマザクラ（ピンク）</p> <p>【低】クチナシ（白）</p>	<p><ベンチ間> 木陰を創出する（ヤマザクラ）</p> <p><三角地> 賑わいを持たせる（クチナシ）</p> <p>クチナシ：6～7月開花、10～12月に橙黄色の実</p>	<p>高木：3本</p> <p>低木：3株</p>

※植樹する本数等は、状況に応じて若干変更になる場合があります。

3 案目

